本社・支社所在地および電話番号表

本社	大阪市東区平野町5－1	電話 大阪 06（202）2221	〒541
南支社	大阪市西成区玉出東2－9－41	電話 大阪 06（652）0001	〒557
北支社	大阪市淀川区十三本町3－6－35	電話 大阪 06（301）1251	〒532
堺支社	堺市住吉橋町2－2－19	電話 堺 0722（38）1131	〒590
北摂支社	高槻市藤の里39－6	電話 高槻 0726（71）0361	〒569
阪神支社	西宮市和上町4－11	電話 西宮 0798（26）3101	〒662
東部支社	東大阪市稲葉2－3－17	電話 河内 0729（62）1131	〒578
京阪支社	枚方市西田宮町16－17	電話 枚方 0720（41）1251	〒573
神戸支社	神戸市中央区相生町5－13－10	電話 神戸 078（576）5231	〒650
京都支社	京都市中京区烏丸御池鶴屋町358	電話 京都 075（231）8151	〒604
奈良支社	奈良市学園北2－4－1	電話 奈良 0742（44）1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1－1	電話 和歌山 0734（31）2481	〒640
姫路支社	姫路市神屋町4－8	電話 姫路 0792（85）2221	〒670
東播支社	加古川市加古川町粟津29－1	電話 加古川 0794（21）1801	〒675
豊岡支社	豊岡市三坂町6－52	電話 豊岡 07962（3）2221	〒668
草津支社	草津市追分町字荒堀680－1	電話 草津 0775（62）5311	〒525
彦根支社	彦根市大東町9－41	電話 彦根 0749（22）3131	〒522
長浜営業所	長浜市南呉服町3－4	電話 長浜 07496（2）7171	〒526

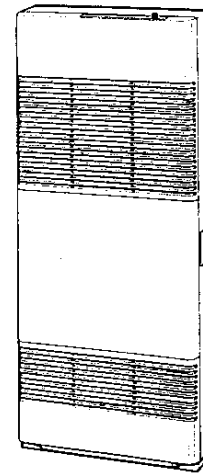
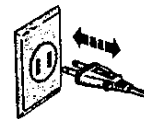
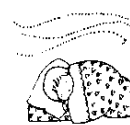
その他当社サービスステーション，およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

ファンコンベクター

取扱説明書

49-956 49-958
49-957

保証書付

器具をお使いになるときのご注意

電源プラグの抜き差しによる運転はしないでください

温風を長時間にわたり直接お肌にあてないでください

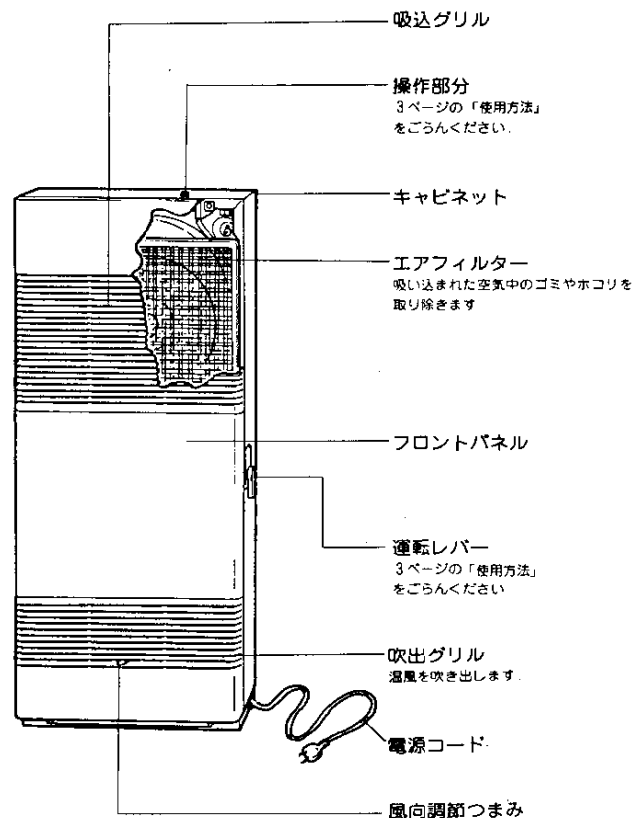
凍結防止について十分ご配慮ください

●ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読み頂き正しくお使いください

ごあいさつ

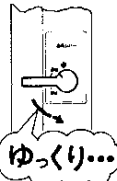
このたびは，大阪ガスのファンコンベクターをお買い求めいただきましてありがとうございます
このファンコンベクターの機能をじゅうぶんに発揮させ効果的にお使いいただくため，お使いになる前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください　お読みになった後は「保証書」とともに大切に保存しておいてください
万一お使いになっているうちにわからないことがございましたら今一度お読みかえしください

もくじ

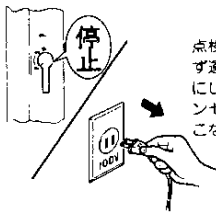
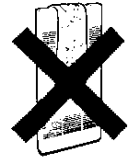
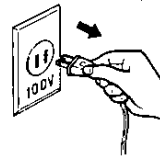
各部の名称

特に注意していただきたいこと

安心してお使いいただくため，つぎのことがらは必ずお守りください。

電源プラグの抜き差しによる運転は絶対にしないでください．
熱源機の異常動作の原因になるばかりでなく，感電など万一の事故を防止するためにも必ずお守りください

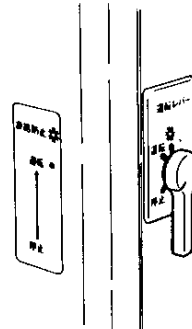
乳幼児，小さなお子さま，お年寄り，病気のかたがお使いになるときは，直接温風が当たらないように周囲の方が特に注意してあげてください

運転レバーを「停止」にするときにはゆっくり回してください。
● 急に回すとコトンと音がすることがあります。

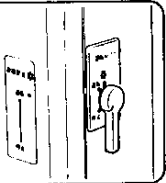
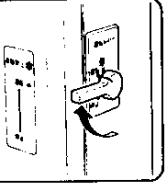
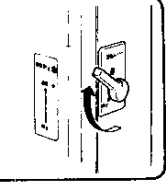
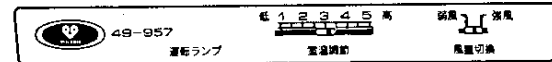
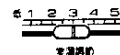
清掃するときには直接水をかけたりしないでください。
● 電気絶縁が悪くなり感電や漏電の原因になります。

電源コードが鋭いかどに当たらないようにしてください。
● コードがいたんで焼損や漏電の危険があります。

点検やお手入れは，必ず運転レバーを「停止」にし，電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

カーテン，家具などで，吸込口，吹出しグリルをふさがないでください。
● 障害物があると暖房能力が低下したり，正常な運転ができません。

旅行やシーズンオフで長期間使用しないときは，電源プラグをコンセントから抜いてください。
凍結の恐れがある場合は6ページ「凍結防止について」を参照してください。

● 万一の感電事故防止のためアースすることをおすすめします。水気のある場所，湿気の多い所など設置される所によっては，必ず電気工事士によるアース工事が必要です。

使 用 方 法

運転レバー

● 運転レバーは「停止」と「運転」の中間で使用しないでください　シャーという通水音がでます

停止
温水の循環と送風機の両方が止まります
● 急に停止に合わせると「コトン」と音のすることがありますが異常ではありません。

運転
温水が循環し，送風機が回ります。

凍結防止
外気温が0℃以下になる時には「＊」スノーマークに合わせます。
● 6ページ「使用時のご注意」の凍結防止の項をごらんください。

操作部

室温調節
つまみの位置に応じて自動的に送風機を運転・停止し，お部屋をお好みの温度に調節します。

● 室温調節目盛は設置場所および家具の影響によって室温と多少差ができることがありますが，各目盛の目やすはつぎのようになります。

目　盛	室　温
低　1	約　15℃
3	約　20℃
高　5	約　30℃

各目盛はあくまでも目やすですので寒い場合は目盛を上げてください。

弱運転
静かにゆっくりとお部屋が暖たまります

強運転
暖房能力は最大となります。
● 早く暖たまりたい時などにご使用ください。

■ 運転のしかた

● 暖房用室外機の遠隔操作盤を使用する場合

1

ファンコンベクターの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
電源は必ず単相100Vからお取りください。

2

熱源機を遠隔操作盤（メーンコントローラー）で運転の状態にしてください。

3

運転レバーを「運転」の位置に回すと温水が循環し、冷風防止サーモのはたらきにより、温水温度があがってから送風機が回りはじめます。

運転ランプが点灯します。

4

弱風　強風

風量切換

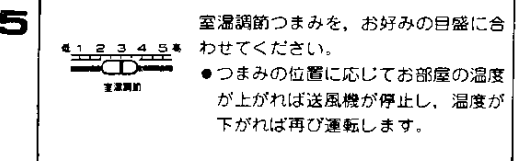
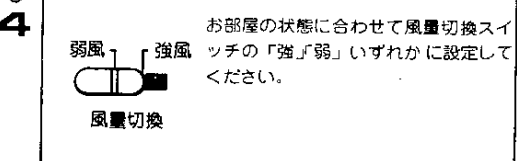
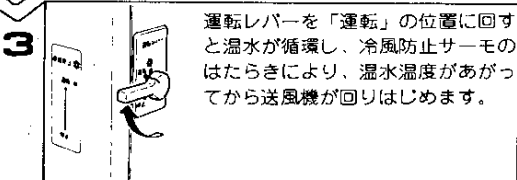
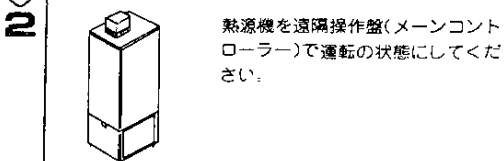
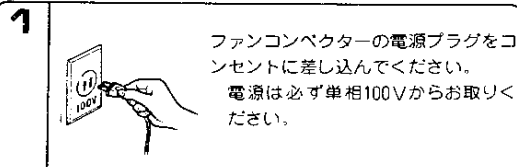
お部屋の状態に合わせて風量切換スイッチの「強」「弱」いずれかに設定してください。

運転ランプは点灯したままで点滅しません。

5

1 2 3 4 5

室温調節

室温調節つまみを，お好みの目盛に合わせてください。
● つまみの位置に応じてお部屋の温度が上がれば送風機が停止し，温度が下がれば再び運転します。

■ 運転のしかた

● 熱源機の運転，停止をファンコンベクターで行う場合

1

ファンコンベクターの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
電源は必ず単相100Vからお取りください。

2

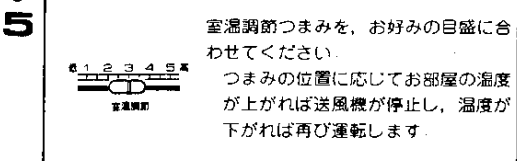
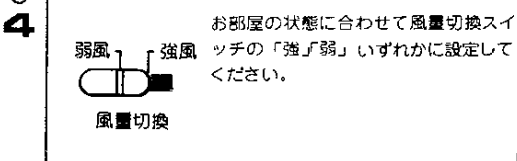
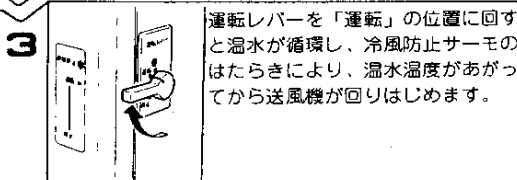
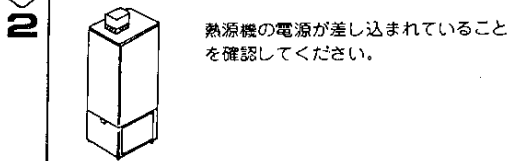
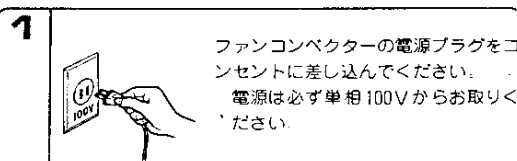
熱源機の電源が差し込まれていることを確認してください。

3

運転レバーを「運転」の位置に回すと温水が循環し、冷風防止サーモのはたらきにより、温水温度があがってから送風機が回りはじめます。

運転ランプは熱源機が点火すると点灯し，消火すると消灯します。

4

お部屋の状態に合わせて風量切換スイッチの「強」「弱」いずれかに設定してください。

お部屋の温度が上がれば運転ランプは消灯（熱源機が消火）し，温度が下がれば点灯（熱源機が点火）します。

（注意）
2室同時使用の場合は，一方のファンコンベクターの送風機が停止しても，もう片方のファンコンベクターが運転しておれば熱源機は消火しません。

5

1 2 3 4 5

室温調節

室温調節つまみを，お好みの目盛に合わせてください。
つまみの位置に応じてお部屋の温度が上がれば送風機が停止し，温度が下がれば再び運転します。

使用時のご注意

■ 凍結防止について

●冬期外気温が0℃になりますと熱交換器や温水配管の水が凍結し破損することがあります
配管や器具が破損しますと，水もれにより多大な被害を引き起こしますので，必ずシステムに適合した凍結防止策を実施してください
熱源機でポンプ運転できる場合は水を循環させ，かつファンコンベクターの運転スイッチつまみと温水コンセントレバーを「❄」スノーマークの位置に合せて行なってください

ポンプ運転のできない場合

暖房水の中に不凍液を注入することで凍結が防止できます　この場合は器具を操作する必要はありません
不凍液の注入は必らずお買い求めの販売店，サービスショップにおまかせください

日常の点検とお手入れ

■ エアフィルターの清掃（一週間に一回程度）

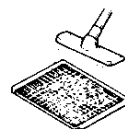
● **エアフィルターが目づまりしますと風量が減少して暖房効果が悪くなってきます。通常1週間に1回程度，次の要領で清掃してください。**

● **特に汚れのひどい所でご使用になる場合は，清掃の回数を多くしてください。**

1

フロントパネルをはずしてエアフィルターを取り出してください

2

エアフィルターについているホコリを掃除機で吸取ってください

3

汚れがひどい時は水で軽く洗い，乾燥させてから取りつけてください

ご注意

火気による乾燥は絶対にしないでください

エアフィルターをぬれたままで取りつけますとサビの発生原因となりますのでご注意ください

エアフィルターをはずしたままで運転しないでください　内部の汚れがひどくなり効率が悪くなるばかりではなく思わぬケガのもととなります

日常の点検とお手入れ

外装のお手入れ

吹き出しグリルや，外装の汚れは乾いた柔らかい布でふくか、台所用洗剤をうすめにつけた布でよくふいてください。

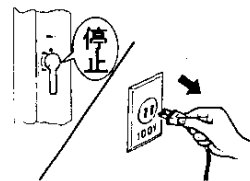
ご注意

ガソリン、シンナー，ベンジン，みがき粉、化学ぞうきん，スプレー式殺虫剤などは絶対に使用しないでください。キズや変形の原因になります。

故障・異常の見分けかたと処置方法

状態	現象	原因	処置
温風が出ない。	運転つまみを「運転」にしても温風がでない。	ファンコンベクター内の湯温が低い。 ファンコントローラ（冷風防止スイッチ）がはたらいている。	そのまましばらく待ってください。湯温が上がると温風がではじめます。
		熱源機の異常。	熱源機の取扱説明書にしたがってチェックしてください。 それでも直らない時は販売店，サービスショップへご連絡ください。
暖房能力が低下した。	温風は出るが「強」にしても風が弱い。	エアフィルターの目づまり。	エアフィルターの清掃。
	温風は出るが温風の温度が低い。	熱源機の異常	熱源機の取扱説明書にしたがってチェックしてください。 それでも直らない時は販売店，サービスショップへご連絡ください。
異常音	異常音がする。	締付部のゆるみやファンモーターの異常。	販売店，サービスショップへご連絡ください。

長期間使用しない場合

運転レバーを「停止」にし電源プラグをコンセントから抜いてください。

エアフィルターを清掃しじゅうぶん乾燥させてからもとどおりに挿入してください。外装部も清掃してください。

アフターサービスのお申し込み

正しい取扱いをしていただければ，ご満足いただけるものと思いますが，ご不審な点や故障のおきたときは，お近くの大阪ガスサービスショップもしくは，最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

■ 保証書について

● 保証書は，包装箱の中にありますので，取扱説明書と一緒に大切に保存してください
保証書がありませんと，サービス料金をお申し受ける場合があります

■ 部品保有期間

● ファンコンベクターの補修用部品の最低保有期間は，製造打切後10年です。補修用部品とは，その製品の機能を維持するために必要な部品です

特　長

● 温水式暖房機ですので部屋の空気が汚れません。

● 温風吹き出し方向は下吹き出し。「頭寒足熱」の理想的な暖房ができます

● ファンコントローラ（冷風防止スイッチ）が付いていますので，運転初期に冷風の出ることはありません。

● 薄形設計ですから場所を広く取りません。

寸法図と仕様一覧表

■ 仕　様

型		式	49−956	49−957	49−958
外形寸法 (mm)	高さ		880		
	幅		380		
	奥行		75		115
電源			AC100V　60Hz		
電動機	型式		コンデンサ誘導電動機		
	送風調節		強弱２段切換		
ファン	型式		多翼送風機		
	個数		1		
配管寸法			外形7.94 銅管・ロウ付接続		
製品重量		(kg)	10	10	13
消費電力		(W)	32	38	55
風量		(m^3/min)	2.5	3.0	4.0
温水流量		(ℓ/min)	2.0		1.95
損失水頭		(mAq)	0.65	0.8	1.05
暖房能力 温水温度と室温の差 60deg		(kcal/h)	1450	1880	2800

■ 寸法図